

令和 8 年度第 1 回  
枚方市上下水道事業経営審議会

# 水道事業の現状と今後の取組について

**枚方市上下水道局**  
*Hirakata Water &  
Sewerage Bureau*



令和 8 年（2026年）6 月 9 日（火）

# 1 背景・目的

- 平成30年の水道法改正により水道事業者等に対し「水道の基盤強化」に関する責務が規定
- 本市の水道事業については、令和6年3月に中間見直しを行った「枚方市水道事業経営戦略」において、令和10年度に収益的支出が収益的収入を上回る純損失（赤字）となる見込み
- 令和6年1月に発生した能登半島地震において、配水池や送・配水管などの耐震性が不足していたことにより断水が長期化したことなどから、本市でも、これら基幹施設の更新・耐震化に向けた一層の投資が必要
- 令和7年4月に京都市で発生した漏水事故のように、平常時においても市民生活に影響する事故が発生しており、老朽化した管路の更新・耐震化についても大きな課題

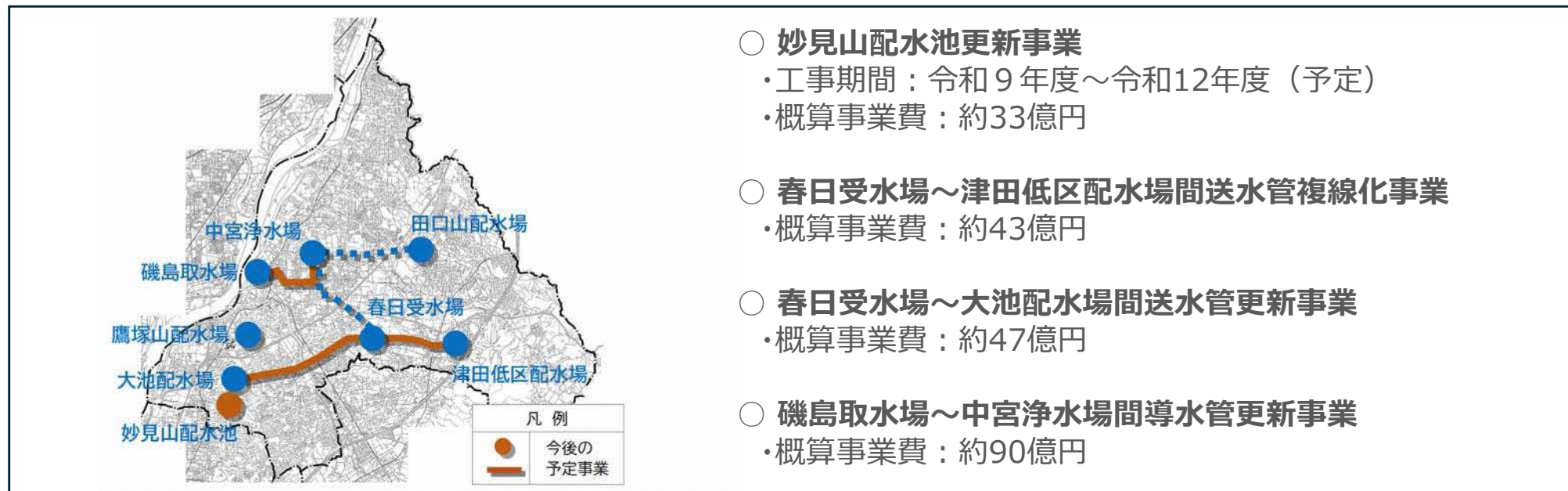
これら経営面や事業面での課題に対応すべく、安定的な財源の確保に向けた検討を進めていく必要があるため、水道事業における更新・耐震化の取組や中期的な経営の見通しについて報告

## 2 内容 (1) 更新・耐震化の取組等

### ① 基幹施設の更新・耐震化

- 本市ではこれまで、基幹施設となる中宮浄水場から田口山配水場間送水管や鷹塚山配水場の更新・耐震化工事及び津田低区配水場の耐震化工事などに取り組んでおり、令和6年度末における送水管の耐震化率は34.2%、配水池の耐震化率は71.3%
- 現在は、中宮浄水場及び中宮浄水場から春日受水場間送水管の更新・耐震化工事を進めており、これらが完了すると浄水場の耐震化率は84.6%、送水管の耐震化率は38.9%
- 今後も基幹施設の更新・耐震化として、下記の事業について、計画的・重点的な取組を進めていく必要

#### ▼ 基幹施設の主な事業



## 2 内容 (1) 更新・耐震化の取組等

### ② 老朽化した配水管の更新・耐震化

- 基幹施設である導水管・送水管の更新・耐震化を計画的に進めながらも、これら以外の老朽化した配水管の更新・耐震化にも計画的に取り組んでいく必要
- 漏水が発生した場合、社会的に影響が大きい中大口径の配水管（口径250mm以上）で、耐用年数となる40年を経過した鋳鉄管の延長は、**全管路延長約1,186kmの4.6%にあたる約55km**
- これら耐用年数を経過した配水管（口径250mm以上）の更新・耐震化に必要な事業費を、**概算で約330億円**と試算

▼老朽化による漏水の状況



### ③ 国の交付金及び一般会計繰出金の活用

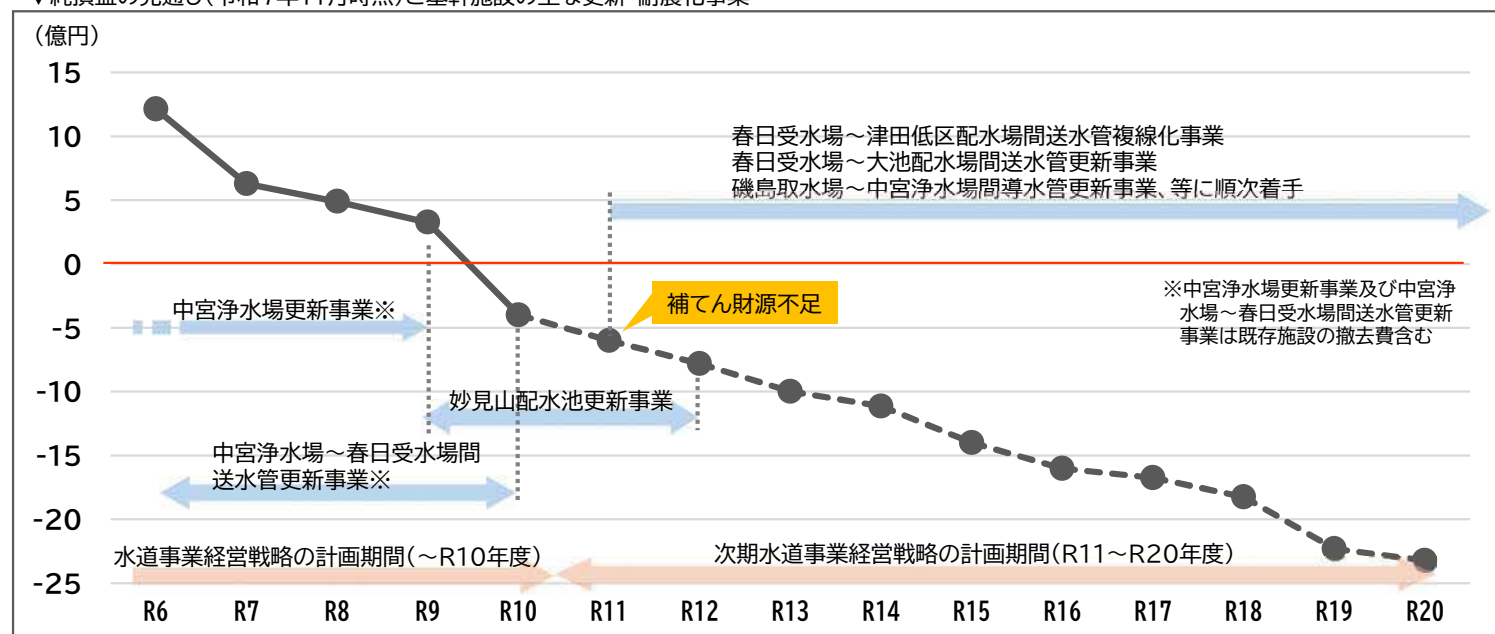
- 基幹施設や老朽化した鋳鉄管の更新・耐震化に向けた財源確保として、国の交付金事業となる「水道総合地震対策事業（補助率1/3）」及び「水道施設アセットマネジメント推進事業（同1/4）」を最大限活用
- 令和7年4月1日付の総務省通知において、地方財政措置の拡充として、水道管路耐震化事業に係る繰出基準の改正事項等が示されたことから、水道管路の耐震化の取組において、一般会計繰出金の活用を予定

## 2 内容 (2) 水道事業の長期的な経営の見通し

### ① 収支見通し

- 令和6年3月の中間見直しを時点修正（令和5年度及び令和6年度決算、令和7年度予算などを反映）した収支見通しにおいても、令和10年度に純損失の発生が見込まれ、その後も物価高騰や人件費の上昇など経費の増加による収支の悪化が懸念
- 前述した今後の基幹施設等の更新・耐震化に要する事業費を収支計画に反映した場合、令和11年度以降も純損失（赤字）が増加していく見込み
- 令和11年度には、資本的収支の補てん財源（内部留保資金）についても不足すると見込み

▼純損益の見通し(令和7年11月時点)と基幹施設の主な更新・耐震化事業

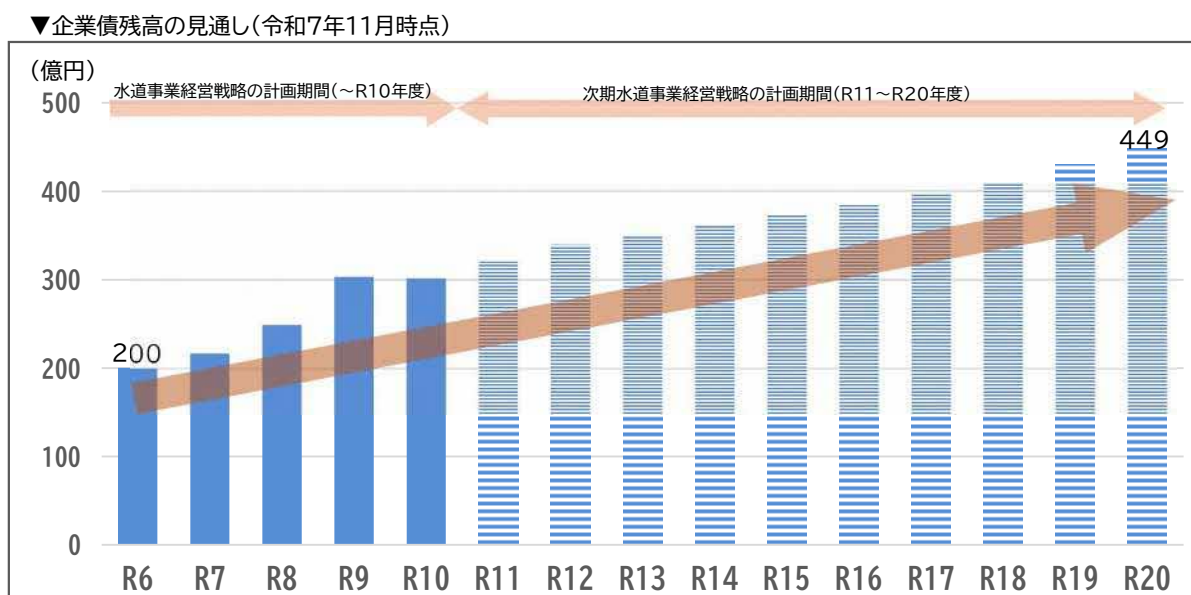


## 2 内容 (2) 水道事業の長期的な経営の見通し

### ② 企業債残高の見通し

- 浄水場などの基幹施設の更新事業に多額の企業債を充てることから、**企業債残高が令和9年度以降大幅に増加**する見込み
- 今後の基幹施設等の更新・耐震化に要する事業費に対しても企業債を活用していくため、更なる増加の見込み
- 事業費の財源を企業債のみに依存すると、企業債残高は、**令和6年度に比べ、令和20年度は約2.2倍**になる見込み

以上のように企業債残高が累増すると、後年度における支払利息の増加を招くことから、収支の悪化を懸念

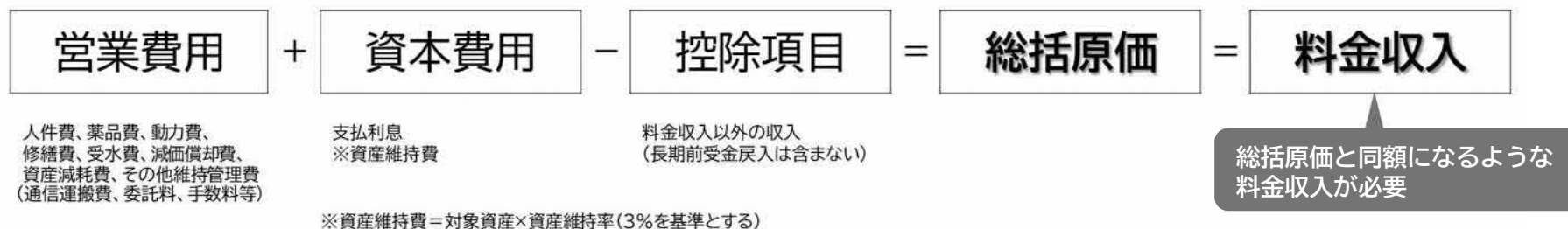


## 2 内容 (3) 水道料金のあり方検討と新たな投資・財政計画（収支計画）の策定

- 今後、厳しい経営状況が見込まれる中、将来にわたり安全・安心で安定した持続可能なサービスの提供に向け、水道施設の**更新・耐震化の取組を着実に推進**していく必要
- 官民連携やDXの推進などによる業務の効率化を図るとともに、今後の決算状況などを基にした経営の見通しについて確認を行いながら、総括原価方式に基づく**適切な料金のあり方**について、**料金改定も視野に入れた検討**を進めていく必要
- 検討に当たっては、枚方市上下水道事業経営審議会の意見を踏まえるとともに、これらの取組については、適宜、議会や市民にもよりわかりやすくお知らせしていく必要
- これに併せ、水道事業経営戦略の次期計画期間となる令和11年度からの新たな投資・財政計画（収支計画）の策定に向けて、令和8年度から具体的な検討に着手

### ▼総括原価方式とは

料金算定期間（3～5年）における料金対象経費で、事業が効率的に行われた場合に要する費用に、適正な事業報酬を加えた総括原価が、料金収入額と見合うように料金設定をするという公共料金の典型的な料金設定方法のこと。



### 3 スケジュール

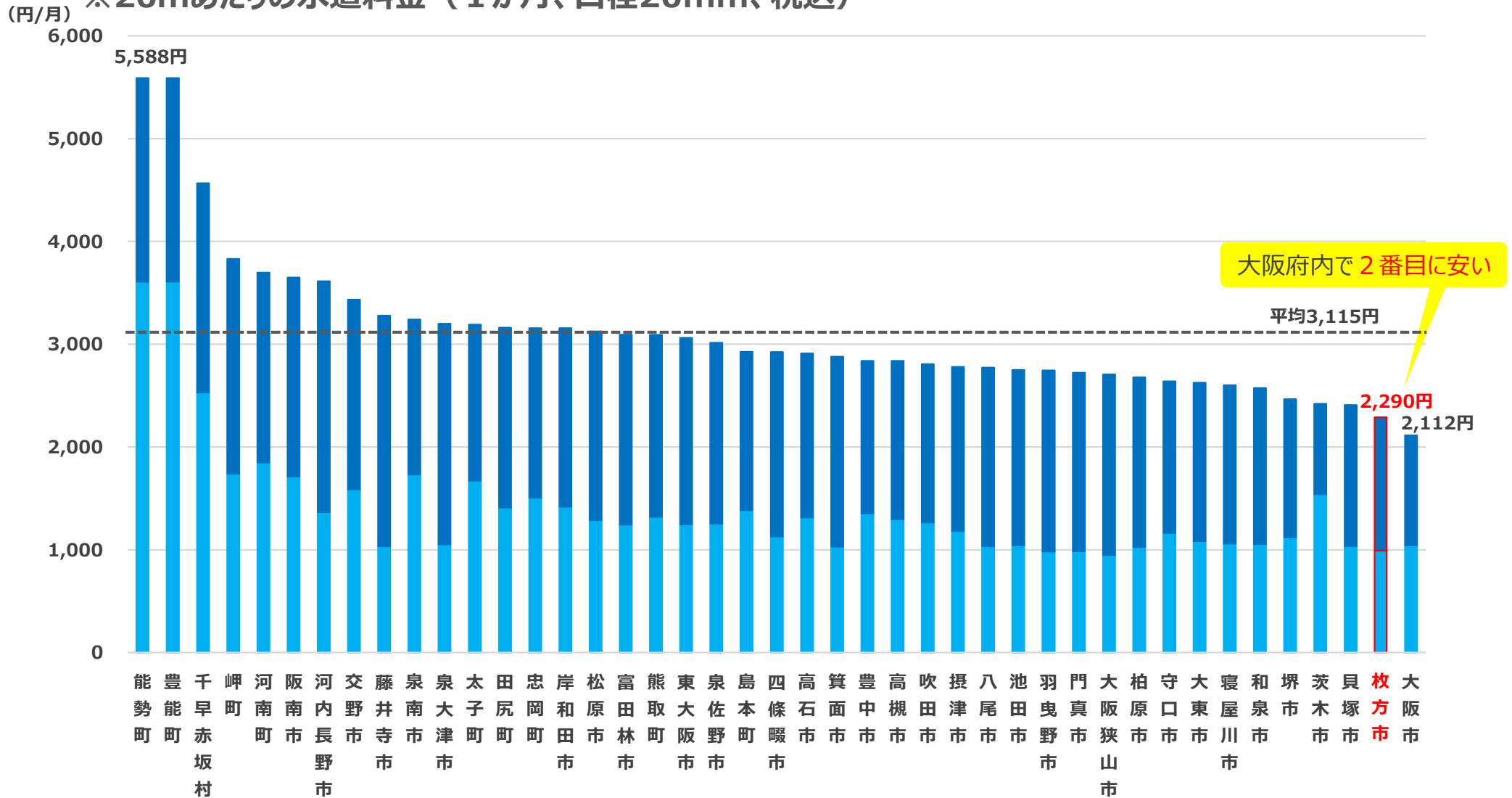
---

- 令和8年度
  - ・新たな投資・財政計画の策定に着手
  - ・投資計画の根拠となる新たな「水道施設整備基本計画策定業務委託」において、更新需要を整理した中長期的な整備計画および令和11年度からの10年間の短期整備計画を策定
- 令和8年度～令和9年度
  - ・本審議会へ諮問および審議会からの答申
- 令和10年度
  - ・本審議会からの答申を踏まえた対応

# 4 参考（他市との比較）

## ①大阪府内（43市町村）の料金比較

※20m<sup>3</sup>あたりの水道料金（1か月、口径20mm、税込）



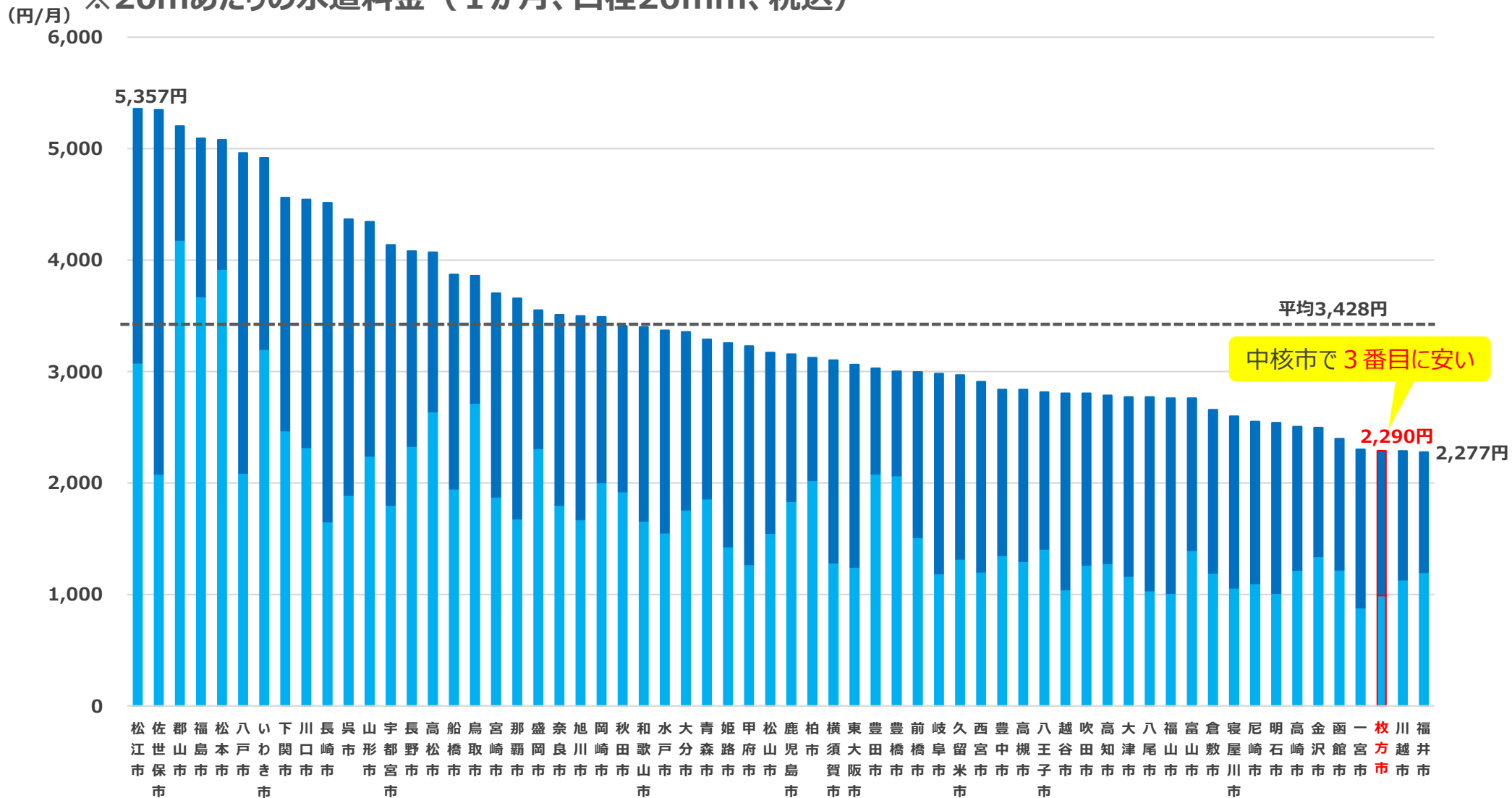
※令和8年4月24日現在の数値です。  
 ※改定予定と公表しているものも反映しています。  
 ※平均は枚方市を除いています。

■ 水道料金10m<sup>3</sup> ■ 水道料金20m<sup>3</sup>

# 4 参考（他市との比較）

## ②中核市（62市）の料金比較

※20m<sup>3</sup>あたりの水道料金（1か月、口径20mm、税込）

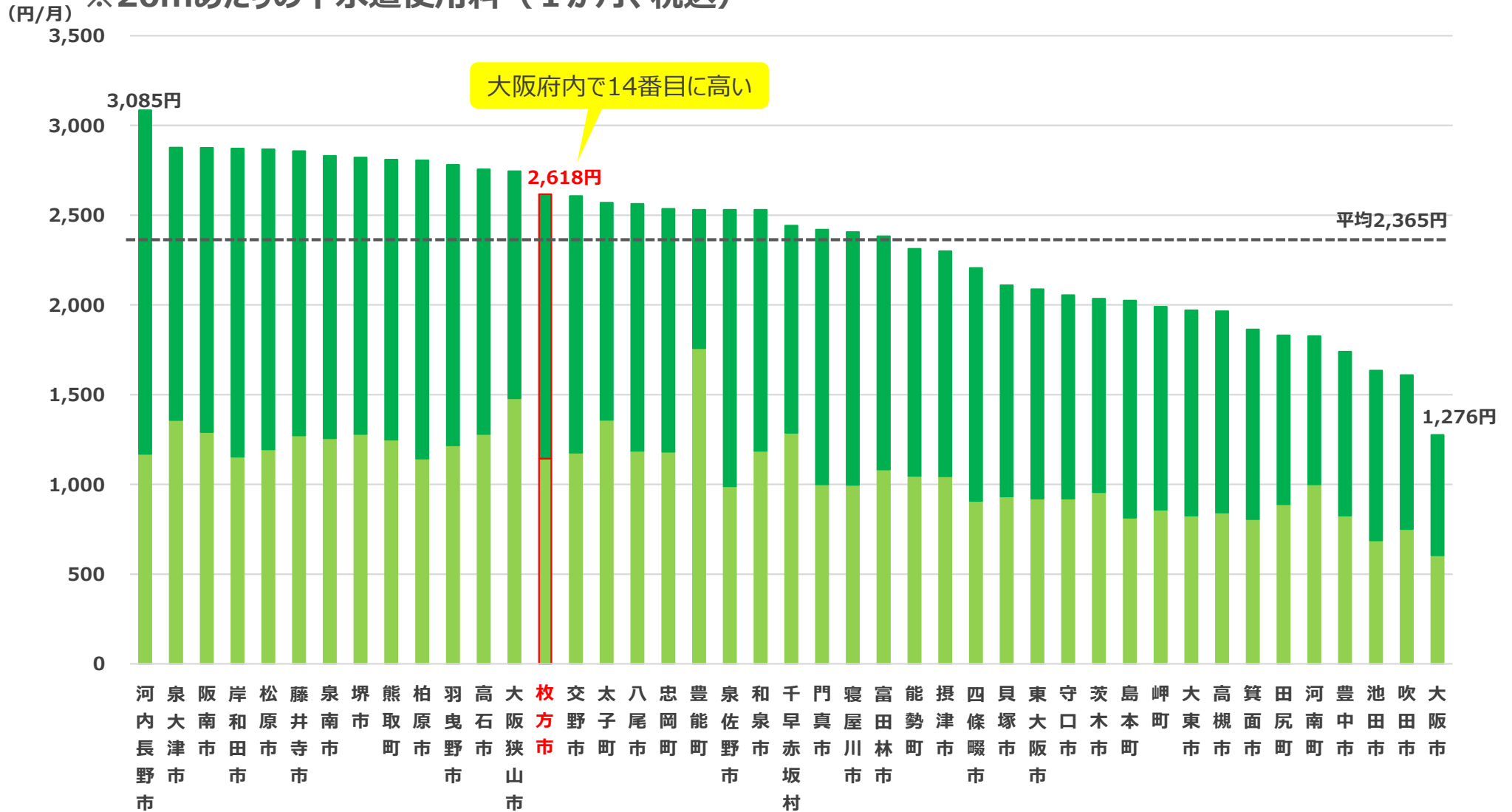


※令和8年4月24日現在の数値です。  
 ※改定予定と公表しているものも反映しています。  
 ※平均は枚方市を除いています。

## 4 参考（他市との比較）

### ③大阪府内（43市町村）の使用料比較

※20m<sup>3</sup>あたりの下水道使用料（1か月、税込）



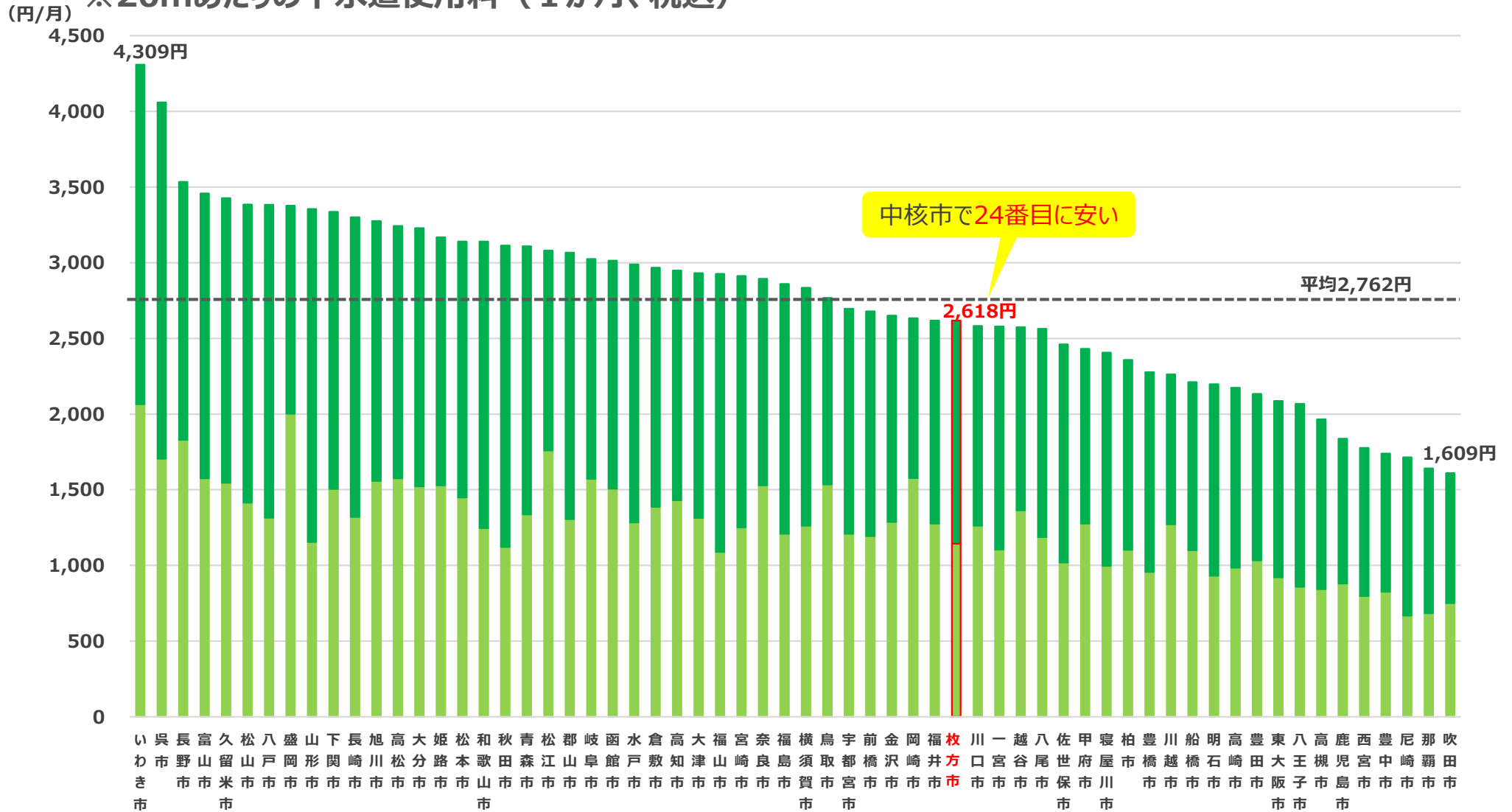
※令和8年4月24日現在の数値です。  
 ※改定予定と公表しているものも反映しています。  
 ※平均は枚方市を除いています。

■ 下水道使用料10m<sup>3</sup> ■ 下水道使用料20m<sup>3</sup>

# 4 参考（他市との比較）

## ④ 中核市（62市）の使用料比較

※20m<sup>3</sup>あたりの下水道使用料（1か月、税込）

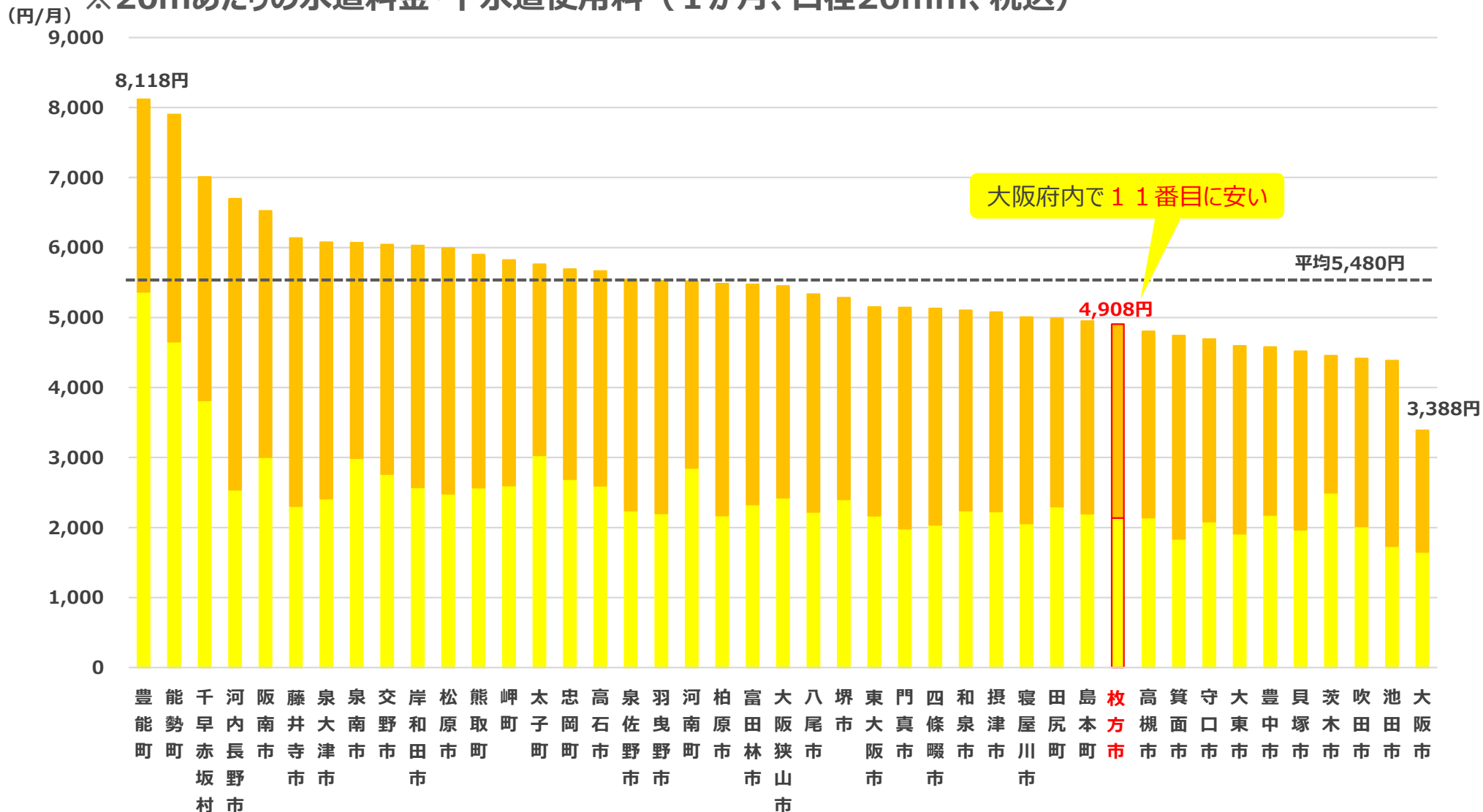


※令和8年4月24日現在の数値です。  
 ※改定予定と公表しているものも反映しています。  
 ※平均は枚方市を除いています。

## 4 参考（他市との比較）

### ⑤大阪府内（43市町村）の料金・使用料比較

※20m<sup>3</sup>あたりの水道料金・下水道使用料（1か月、口径20mm、税込）



※令和8年4月24日現在の数値です。  
 ※改定予定と公表しているものも反映しています。  
 ※平均は枚方市を除いています。

■水道料金・下水道使用料10m<sup>3</sup> ■水道料金・下水道使用料20m<sup>3</sup>

